令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	公益財団法人日本アイスホッケー連盟
事業細目名	タレント発掘・一貫指導育成
事業名	女子育成事業
助成金額	80,168,000 円

令和 6 年度将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成で公益財団法人日本アイスホッケー連盟が行っている「女子育成事業」について実施状況調査を行いました。

本事業は、令和 6 年 7 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日の期間、若年層から日本代表までの一貫指導を実施し、世界と戦える人材を育てる活動に対して支援を行うものです。

今回調査を行った『女子ユースキャンプ（7 月）』では育成年代の選手を対象に事業を実施しており、その他にメンターとしてベテラン選手数名を参加させ、育成年代の選手を指導することにより育成年代の底上げを実現しています。

合宿当日は活動初期段階であるため個人能力向上を目的にポジション別の練習を中心に行っており、スケートリンクの上で選手たちはコーチ陣と積極的にコミュニケーションを取りながら懸命にプレーしていました。

■助成の意義

くじ助成を受けたことで、海外遠征の実施が可能となり、体格差のある外国人選手と試合をする機会を増やせたそうです。その結果、『2024 女子 U18 世界選手権』において 5 戦 5 勝で 1 位となり、次季からトップディビジョンへの昇格も果たすなど著しい成果を残しています。

■事業効果を高めるための取り組み

合宿の開催地である苫小牧市ではアイスホッケーの部活動が盛んであり、苫小牧市を拠点として活動するプロチームがあることから、自治体をあげてアイスホッケーを支援する風土があるため、活動拠点の利用調整を行う等、自治体と密に連携を取っているとのことです。

また、合宿活動は連盟 HP だけでなく Facebook 等の SNS を活用して情報発信することで一般の方に向けても活動内容の周知を行うなど、団体活動の周知を工夫しているそうです。

■所感

本事業への助成は公益財団法人日本アイスホッケー連盟の強化合宿開催への一助となるだけでなく、アイスホッケー競技の裾野拡大にも好影響があったものと考えます。本事業に参加した選手のさらなる活躍及び競技力の向上に助成金が活用されることを期待しています。

（令和 6 年 7 月 16 日往査）

（写真）合宿の様子



